

## 令和2年度第1回小牧市交通安全・防犯対策協議会会議記録

- 1 開催日時 令和2年8月19日(水)  
午前10時30分～午前11時40分
- 2 開催場所 小牧市役所 本庁舎6階 601会議室
- 3 出席者 野々川和明 外19名  
《事務局》  
市民生活部長、市民生活部次長、市民安全課長、  
市民安全課主幹、交通防犯係長、交通防犯係  
《小牧警察署》  
小牧警察署交通課長、生活安全課長
- 5 報 告 (1) 小牧市における交通事故及び犯罪発生状況について  
(2) 令和元年度の小牧市における交通防犯に関する取り組みについて  
(3) 今年度の取組事項について
- 6 議 題 新型コロナ感染症流行下における交通防犯の啓発活動について
- 7 そ の 他
- 8 議事内容

(長縄課長)

お手元の次第に基づき、議事を進行させていただきます。それでは、野々川会長からごあいさつをいただきます。

(野々川会長)

新型コロナ感染症の中、連日の猛暑の中、お集まりいただき、ありがと

うございます。委員の皆さんにおかれましても、日ごろから交通防犯の推進にご尽力いただき、ありがとうございます。また、小牧署の交通課山本課長、生活安全課山田課長にご臨席をいただいております。ありがとうございます。令和元年度、2年度の報告、新型コロナ流行下での交通・防犯対策について、委員の皆様から貴重な意見等頂戴できればと思います。

それでは、次第1報告、「小牧市における交通事故及び犯罪の発生状況について」ご報告をお願いします。

(山本交通課長)

交通事故の発生状況をお話しします。県下の昨日現在の交通事故死亡者数は90名で、前年対比プラス7名、全国ワースト1で、続いて神奈川、東京となります。小牧市の発生状況は、残念ながら4件の交通死亡事故が発生しており、すべて交差点で発生しています。1件目は、側道の一時停止を無視して、歩行者に衝突したものです。2件目は朝の時間帯で、中型貨物と原付、3件目は右折と直進の事故で、軽四貨物と中型貨物、最後は春日井一宮線で、早朝の時間帯で、散歩していた50歳代の男性に中型貨物が右折時衝突してしまいました。

人身事故の状況は、7月末現在市内304件、前年対比マイナス77件で、昨年よりもマイナス傾向となっていますが、死亡事故が増えているため、厳しい状況となっています。学区別に見ますと、北里、村中、小牧南で多発しています。4件も死亡事故が発生しているため、交差点に関連する違反の指導取締りを強化するため、信号無視、側道の一時停止無視、横断歩行者妨害の取締りを重点的に取り締りしていきます。

重大な死亡事故にはなっていませんが、自転車利用者の事故が増えており、午前中の通勤通学時、高齢者の方の10時以降の買い物の時間帯など、自転車利用者に対する指導、取締りを強化していきたいと思います。集客力のある施設（スーパー、ホームセンター）での、自転車利用者に対する広報啓発を進めていきます。

警察は交通規制の立場ですが、市道であれば市の道路課等と連携し、事故を未然に防ぐため、路面標示やカーブミラー等対策を取っていきたい。

(山田生活安全課長)

7 月末現在の暫定値で、刑法犯は 513 件となり、昨年と比較すると約 25% 減少し、5 年前と比較すると約半数、10 年前と比べると約 1/3 となっており、年々減少傾向にあります。

住宅対象の侵入盗の中には、家人が寝ている時にこっそりと忍び込む忍び込みがあり、家人が気づくと、強盗に発展することがあり、とても危険です。昨年と同じ 20 件発生し、一昨年は倍以上発生しました。

自動車関連窃盗について、全体的には 42 件で、昨年の約半数となっています。車上ねらいは昨年と同数のため、警戒が必要です。ナンバープレートの盗難が今年は減っており、ナンバープレート盗の減少が、自動車関連窃盗全体の減少に繋がっています。

万引きも半数に減っており、自動販売機ねらいはほぼ検挙できています。全体的に減少していますが、新型コロナの影響による外出の減少、買い物等の減少に伴う減少と考えられます。今後とも警戒を進めていきます。

最後に愛知県内で見ると、犯罪率とは、参考で、人口千人当たりの、刑法犯の被害に遭った方の数値となります。昨年少小牧市は名古屋市を除いた市の中で、県下ワースト 1 でしたが、現状ワースト 7 位となっています。ただし、37 市の中でワースト 7 位のため、今後とも十分な警戒が必要となります。

(内堀交通防犯係長)

令和元年度における小牧市の取組について、①交通安全対策として、交通安全教室を 27 回実施し、それぞれの年代層にあわせた横断歩道の渡り方、自転車の乗り方等を実施しました。交通安全街頭キャンペーンは、春・夏・秋・年末と県下一斉の交通安全運動の際など、サイン板をもって交差点に立ったり、ショッピングセンターで啓発品の配布をしました。その他対策に関する広報活動として、庁舎内で交通安全に関する動画を放送したり、ホームページで情報発信を行ったり、事故防止のため、小牧市自動車学校さんの協力を頂き、自動ブレーキ等の安全運転サポートシステムを備えるサポートカーの実車体験等を実施しました。

次に、②防犯に関しては、防犯教室を対象年齢に応じて 12 回実施しました。年金支給日に合わせ、金融機関で啓発活動などを行いました。その

他対策に関する広報・啓発活動として、ホームページで情報発信をしたり、ドライブレコーダーのマグネットの配布を続けています。マグネットが貼れない車用にシールタイプも用意しました。自転車盗が多く発生しているため、小牧南高校において、自転車盗防止を呼びかけるため、無施錠の自転車を中心にツーロックの啓発活動を行いました。

続いて、③防犯灯の LED 化についてです。平成 30 年度に調査し、令和元年 10 月頃から蛍光管防犯灯の全てを順次 LED 防犯灯に交換しました。従来区で行ってきた防犯灯の設置・維持管理を区の負担が大きくなっていたこともふまえ、市で維持管理していくこととしました。今後も新設の要望があれば、区長さんを通じて申請いただき、順次設置していきます。

④通学路等における防犯カメラの設置については、平成 30 年度の新潟の事件をきっかけに、国が策定した「登下校防犯プラン」に基づき、登下校時における子どもの安全を確保するため、通学路を中心とした市内 100 箇所に防犯カメラを設置しました。令和 2 年 3 月から運用を開始しました。

⑤巡回バスにおける交通安全ポスターのラッピングについて、昨年度市内小中学校の児童生徒に募集を呼びかけ、900 作品以上の提出作品から選出された特別賞 7 作品を令和元年度第 2 回の小牧市交通安全・防犯対策協議会で委員の皆様を確認していただいた上で、令和元年 11 月に巡回バスの車体にラッピングを行いました。今でも継続して走っており、今年度募集したポスターに今後切り替えていきます。

(林交通防犯係担当)

今年度の取組事項について、①巡回バスにおける交通安全・防犯対策ポスターのラッピングについて、今年度も引き続き、市内の様々な場所を走る巡回バスに、交通安全・防犯対策を呼びかけるポスターをラッピングし、多くの市民に広報・啓発する予定です。すでに市内小中学校の児童生徒に募集を呼びかけ、作品を提出いただいておりますので、特によいと思われる作品を採点してください。巡回バスにラッピングするポスターなどは、本日の結果をもとに、事務局で選定します。なお、その他優秀な作品を含め、市の施設等で掲示を予定しています。

続いて、②高齢者急発進等抑制装置設置費の補助については、自身が運転する車両に後付けで急発進等抑制装置を設置する方にその費用の一部を

補助することで、高齢者の安全運転に役立てることを目的としています。市内在住の 65 歳以上で、車検証上の使用者の方を対象としています。国の補助の他、市から最大 32,000 円の補助金を受けられます。高齢者は加齢に伴い、視力、記憶力、身体能力が変化し、交通上の危険を察知・回避する能力が低下する傾向があります。高齢化社会が進む中、新しい技術を活用し、少しでも交通事故の被害者・加害者を減らせるよう、装置の設置を促進していきます。

③防犯対策補助金制度の見直しについて、補助対象とする物品を、現在の犯罪情勢にあわせて見直し、鍵の交換、防犯砂利等を対象から除き、防犯カメラを「録画機能付き防犯カメラ」、インターフォンを「録画機能付きインターフォン」に変更し、特殊詐欺対策として「迷惑電話防止機能付きの固定電話」を追加し、運用しています。昨年度の第 2 回対策協議会の中で、新しい対象製品を取り付けた場合は、以前補助を受けた方も再度補助を検討すると事務局から説明しましたが、改めて制度の見直しをしていく中で、今回の見直しは対象項目の一部変更に留まることから、制度のリセットは行わないこととなりましたので、あわせて報告します。

最後に④その他として、ストップマークを紹介します。従来のペンキと比べ、設置が容易で、夜間等も目立つことから、昨年度から配布を開始しています。また、後ほどの議題にもある新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、大幅な税収の減額が見込まれる中、当市においても財政当局から緊縮財政を求められています。また、5 年に 1 度の補助金制度の見直しも踏まえ、交通防犯全般の事務事業の見直しを考えていく必要があります。今まで実施してきた事業の運用方法を工夫することで、経費を削減したり、事業効果を高められる可能性もあるため、委員の皆様のお力添えをいただき、よりよい交通防犯施策を進めていきたいと考えています。

(野々川会長)

ただいま説明のありましたことについて、ご意見ご質問等がありましたら、お願いします。

(中村委員)

警察の方から説明のあった、刑法犯認知件数で小牧市がワースト 5 位に

上がっていますが、特殊詐欺以外のその他の事例を教えてください。

(山田生活安全課長)

自転車盗、万引きでかなりのウェイトを占めており、その他置き引き、車上ねらいが多い傾向にあります。

(一戸委員)

交通事故の特徴の中で、自転車関係が81件と比率が多く、四輪車の次となっています。小中学生はマナーを忘れ、大胆な運転をし、危ないと思ふことがあります。自転車マナーの向上として、交通安全街頭キャンペーン等、主にどのような内容で、何回くらい実施していますか。将来免許を取り、運転することになるため、小さい時から交通安全のマナーを学ぶことが重要だと思います。

(山本交通課長)

小中学生の時から、啓発し、交通マナーを学んでいくことが重要です。今年に入って、新型コロナの影響で、例年月に1度は実施していた小中学校対象の安全教室について、今年はそれほど実施できていません。県警本部と連携するなど、新型コロナの情勢をみながら、交通安全教室等の実施も進めていきたいと思っています。

(城所委員)

自宅の前に路面表示、ガードレールを設置頂き事故が減りました。また、自宅の出入口辺りにLED防犯灯が付き、大変明るくなりました。

(林委員)

高齢者の急発進の制御装置を普及するため、PRを拡充してほしい。65歳以上の方は大丈夫と思っているため、ぜひ高齢世帯の家族に広められるよう幅広い世代に広報して貰いたい。

また、防犯対策補助金について、同一世帯での2回目の交付は不可となりましたが、防犯グッズがインターネットで5000円程度でも購入でき、600点ほど商品もあり、制度が始まった当時と状況が変わっています。一

件でも犯罪を減らすため、より多くの方に防犯対策を広められるよう、2回目の交付を認めることを検討してほしい。

(長縄課長)

補助金制度は時限的なものもあり、恒久的なものではないこともあり、長期的に見て、見直しに関して、財政当局と十分に調整し、進めていきたいと思います。

(舟橋委員)

犯罪の傾向について、新型コロナのため減少傾向にありますが、自粛警察・規制警察が話題になっています。帰省で帰った車を傷つけるなどの自粛警察等の事案の相談、発生状況等を教えてください。

(山田生活安全課長)

小牧市内では認知していません。ただ、自宅にいる時間が増え、家庭内でのDVが若干増えています。新型コロナ関連での犯罪と特定できないため、現状発生している案件が、新型コロナの影響をどれくらい受けているかまではわかりません。

(野々川会長)

ありがとうございました。それでは、2の議題に移ります。「新型コロナ感染症流行下における交通防犯の啓発活動」について事務局から説明をお願いします。

(永井口主幹)

それでは、議題について説明させていただきます。新型コロナウイルスは、日本国内に留まらず、世界各国に広まり、多くの感染者、死者数を出しています。経済活動や、子供たちの学校生活、市民の皆さんの生活様式など、誰もが影響を受け、新しい生活スタイルを求められています。

市としても、各種行事を自粛し、市民安全課も接触があるようなキャンペーン活動はほとんど行っていません。地元の地域の活動も様々な制約を受けており、例えば自主防犯パトロール団体には、巡回するエリアを複数

に分けて、参加者・所要時間を制限したり、「ながらパトロール」を行うなど、無理のない範囲でのパトロール活動を実施して貰っています。在宅の機会が多く、犯罪自体は減っていても、特殊詐欺が増えているなど犯罪情勢も変わってきていると思います。

例えば、市役所ではフェイスブック、ライン、ケーブルテレビ等を活用した広報を行っています。啓発品の配布の際に手渡しを嫌う方のため、かごを渡して、各自取っていただくなど、キャンペーンの方法も変わってきています。新しい生活様式にあわせた啓発活動の方式等について協議をお願いします。

(一戸委員)

新型コロナの感染者数について、東京都、大阪府の数値が公表されていますが、小牧市は増加傾向にあり、現時点で 50 名と聞いています。討議の前に、感染者の内訳、家族内感染等状況を教えてください。

(高木市民生活部長)

県のホームページ情報がすべてで、感染経路について家族や濃厚接触等の記載があれば、経路が特定できているということになります。感染経路について、不明者の方が多いと思われれます。

(城所委員)

フェイスブック、ライン、ケーブルテレビも使用しない方は、新しい詐欺の情報を得られません。家にいる時間が多い高齢世代の方に周知するため、選挙の時の広報車を活用し、交通防犯関連で啓発して貰えないか検討して下さい。

(野々川会長)

あまり外に出られないので、広報車で自宅内にいる方に啓発するなど、様々な方法で啓発できないか考えてほしい。

(林委員)

自主防犯パトロールは、ながらでもいいので、地域を回ることで、犯罪



を未然に防ぐことができます。分散して 4,5 名でも、実施して貰うことで、犯罪が起こりにくい環境に繋がります。ボランティアの方は、自分たちの手でやっていくという意識が高いので、市からアドバイスして、新型コロナ下でも可能な啓発の方法、注意点を周知してほしい。

(永井口主幹)

アドバイスが欲しいという自主パトロールの団体から相談を受けたり、新型コロナ下での集団での防犯パトロールに関する苦情を受けたこともあります。活動方法等について、分散して実施したり、買い物の行き帰りなどの「ながらパトロール」実施の促進や、マスク着用・消毒の徹底等について記載した手引きを作成し、案内しています。

(野々川会長)

パトロールをやっていること自体が、地域全体の犯罪を減らすことに繋がるので、団体と市で協力して、工夫して取り組んでほしい。

(落合委員)

先般も小牧警察署のパトロールカーで巡回しましたが、コロナ下でも街頭に立って、交通パトロールもたくさんみえます。団体で動きにくい中、個人で活動している方のことを考え、団体への支援だけではなく、個人の方に対する支援が何かできないか考えてほしい。

(野々川会長)

新型コロナで、団体活動が減っており、個人での活動に支えてもらっています。事務局も状況を十分把握した上で、対応してほしい。

(城所委員)

自宅に変な手紙が来たり、配送業者を語ったメールなども来ますが、市内の特殊詐欺の発生件数を教えてください。

(永井口主幹)

今年は早いペースで特殊詐欺が発生しており、一人の方で 1400 万円ほ

どの被害にあうなどキャッシュカードを取られるケースが増えている。警察を名乗るものから、キャッシュカードを悪用されていると言われ、銀行協会等を装い、受け取りに来るなど、手口が巧妙になっています。ハガキが減り、封筒で来ているケースが増えるなど、詐欺の手法も変わってきています。対策として、キャッシュカードを渡さない、暗証番号を教えない、迷惑電話機能を付ける、家族とよく話し合うなどがあります。

(野々川会長)

それでは質問、ご意見等もないようですので、以上で本日の議題等は終了します。

(長縄課長)

ありがとうございました。長時間にわたり議論いただきましてありがとうございました。今後の協議会でも有意義なご意見、ご提案いただきますようお願いいたします。

これをもちまして、第1回小牧市交通安全・防犯対策協議会を閉会させていただきます。

本日は、お忙しい中お集まりいただきましてありがとうございました。